

安平・厚真行政事務組合のページ

■平成 22 年度のごみ処理状況

平成 22 年度において、二町(安平町・厚真町)の皆さんが出されたごみの排出量やリサイクルの状況、ごみ処理にかかった経費をお知らせしますので、今一度ごみの状況を確認して、ごみの減量を実践しましょう。



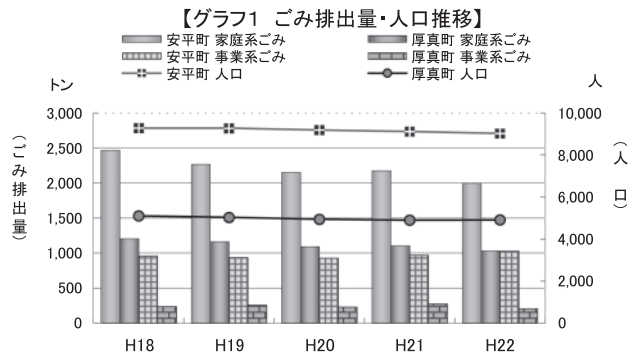
ごみの排出量

安平町・厚真町における過去 5 年間の家庭系及び事業系のごみ排出量と人口の推移はグラフ 1 のとおりです。

平成 22 年度は前年度と比べ、家庭系と事業系のごみを合わせて安平町で 118 トン、厚真町では 138 トン減りました。減った要因は、今まで燃やせるごみ・燃やせないごみとして処理していたプラスチックの資源回収を始めたことによるものです。

燃やせるごみの中には、依然として資源となるものが多少含まれているのが現状です。

ごみの分別を進めることで、ごみ焼却量や、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの削減、環境の負荷を低減することができますので、分別排出の徹底について常日頃より心がけましょう。



	安平町			厚真町		
	家庭系ごみ	事業系ごみ	人口	家庭系ごみ	事業系ごみ	人口
H18 年度	2,468 トン	958 トン	9,279 人	1,206 トン	236 トン	5,102 人
H19 年度	2,267 トン	937 トン	9,270 人	1,164 トン	258 トン	5,028 人
H20 年度	2,153 トン	930 トン	9,186 人	1,091 トン	231 トン	4,941 人
H21 年度	2,175 トン	970 トン	9,115 人	1,107 トン	274 トン	4,900 人
H22 年度	1,998 トン	1,029 トン	9,023 人	1,035 トン	208 トン	4,912 人

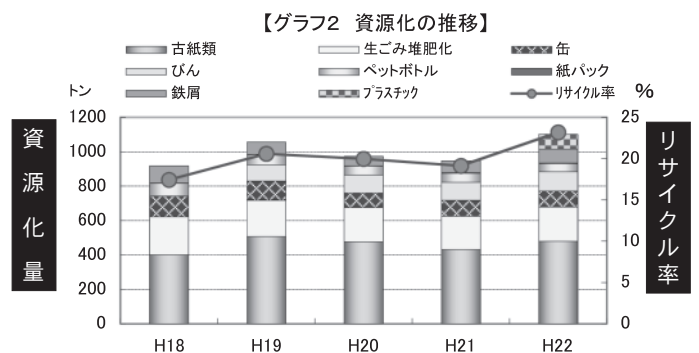


資源化の推移

平成 22 年度のリサイクル率は前年度対比で 4.06% 上がりました。主な要因としてプラスチックの回収開始のほか、古紙類が 50 トン近く増えたことによるものです。

(単位:トン・%)

	H18	H19	H20	H21	H22
鉄 屑	100	71	55	71	81
紙パック	2	2	2	2	2
ペットボトル	73	59	52	53	48
びん	—	95	105	105	112
缶	125	111	84	93	93
生ごみ堆肥化	220	211	199	193	200
古紙類	402	508	477	432	479
プラスチック					85
リサイクル率 (%)	17.4	20.6	20.0	19.1	23.2

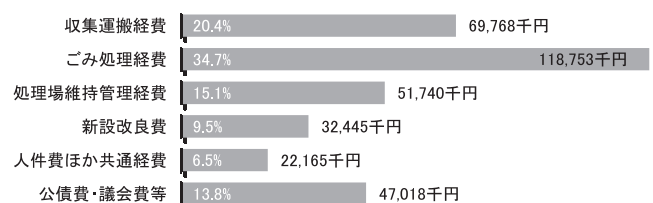


ごみの処理経費

平成 22 年度のごみ処理経費の総額は、341,889 千円内で内訳はグラフ 3 のとおりです。

ごみの収集運搬経費、ごみの焼却・埋立・資源化などを行うごみ処理経費、組合の処理場の維持管理経費及び人件費等が直接ごみ処理に要した経費で、1 トンあたり約 61 千円の処理経費になり、21 年度比で 5 千円ほど増えています。主な要因として広域処理している苫小牧市に対して、新たにプラスチック類中間処理施設に係る建設費・維持管理費の納入が追加されたことによるものです。

【グラフ3 平成22年度ごみ処理経費の内訳】



※ グラフ中、公債費は施設整備のため国などからの借入金の償還金、議会費等は組合議会の経費並びに監査委員経費です。